

亨会員、安藤志子会員、浅野会員、福家会員、井上久会員、井上勇会員、石野会員、石坂会員、小塚会員、中島眞一会員、野島会員、大矢会員、親松会員、佐藤会員、関山会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、玉井会員、寺川会員、鶴飼会員、渡邊会員、結城会員、金子会員、小島会員。

<出席委員会>

渡邊委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1789回	42	35	7		83.33%
第1788回	42	42			100%

<ロータリー財団>

浅野委員長

嶋志田会長→「ガバナー公式訪問を記念して」。

<米山記念奨学金>

嶋委員長

寺川会員→「明日11月25日で61歳になります。去年は還暦で色々書くことができましたが、今年は何にも書くことがありません。去年と同じく忙しい毎日が続いています。そして、それが何よりのことと思っています」。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	35件	45,000円	509件	577,612円
財団	1件	120,000円	10件	246,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	1件	20,000円	17件	245,000円

本日のプログラム

第2590地区 第3グループガバナー補佐 鈴木克明様よりガバナーのご紹介



箕田ガバナーの公式訪問は7月から始まり、いよいよあと2つで終了とのことでこちらの公式訪問は印象に残るのではないかと思います。クラブ活動報告書に箕田ガバナーの詳しい経歴が載っております。詳細はそちらをご覧ください。箕田ガバナーは現在83歳で今年度のガバナーの中で最年長でいらっしゃいます。ガバナーは一年前からの準備期間を含め各ロータリークラブの公式訪問、地区委員長会議、事務局での打ち合わせなど多忙で、スケジュール帳の日程欄が真っ黒なのではと思います。ご本人は昨年地区大会で「命をかけてガバナーを務める」と話されていました。ロータリー歴は23年前に横浜ロータリークラブに入会され横浜ロータリークラブ会長はじめ、地区幹事、ガバナー補佐、地区の各委員長を務められました。箕田家は横浜で貿易業を始められ現在の職業分類は不動産賃貸業。馬車道商店街

の理事もされています。東京水産大学卒業後、極洋捕鯨株式会社に入社され北洋捕鯨等9回も参加されています。荒波を経験されている海の男です。船に弱い人はすぐ酔ってしまうのですが箕田ガバナーは全然酔わなかったそうです。その後人事部長を経て家業を継がれました。趣味は油絵を描くことです。ロータリアンによる絵画展を主催され毎回盛況で今年で53回目を迎えます。ロータリーに対して強い信念を持ち絵画という芸術面にも造詣が深くバランスの取れたお人柄の箕田ガバナーです。

<ガバナー公式訪問卓話>

第2590地区ガバナー
箕田敏彦様



ただいまご紹介にあずかりました箕田敏彦です。本年ガバナーという大役を仰せつかり務めさせて頂いております。ガバナーというのはどのような仕事かといいますと、まずガバナーエレクトとして前年9月1日～3日に東京のホテルで研修を受けます。その研修というのも私だけではなく常に家内同伴というのが義務付けられております。公式訪問は同伴しなくていいので私一人で参上しております。ほとんどの会合は大抵家内同伴ということになっております。そのあと12月1日～3日も東京のホテルでガバナーになるべく研修を受けます。大勢で集まる時は家内同伴、同伴と言いましても隣り合わせではなく家内は後ろで各ガバナーの奥様方と一緒に聞いているわけですが、我々は前面に押し出され色々な教育を受けております。そして最後に1月18日にアメリカのサンディエゴで最終的なガバナーエレクトの研修が行われまして、この研修を終了した者だけがガバナーとしての役割を仰せつかるという形になります。このサンディエゴの研修を受けなかったり脱落した者はガバナーとしては認められないということになります。この研修はかなり厳しく、サンディエゴにある2等の40階くらいある大きなホテルで受けます。サンディエゴという街は港町であり海軍の軍港でもあります。しかしサンディエゴという街を我々は殆ど歩いておりません。外に行く時間が全くなく朝の8時半から夜は10時過ぎまで研修がございますので街を歩く時間はありませんでした。

まず1月18日の朝、成田から直行便で向かいました。直行便は3年くらい前から始まったようです。昔は必ずニューヨークやワシントンを経由して乗り換えでした。サンディエゴの空港がローカル空港で滑走路が短く大型機が入らないという理由からでした

が、滑走路を延長しまして大型機が入るようになりました。とは言え滑走路の短いローカル空港であることは今でも変わっておりません。私はJALが一日一便だけ出している直行便で参加いたしました。ニューヨーク等見学してから参加された方もいましたが私は直行便で向かいました。サンディエゴの街は軍港で空母が鎮座していましたので、ぜひアメリカの空母を見たいと思いましたが全部見学するには2時間以上かかることと見ることはできませんでした。

空港からバスでホテルに向かうとRIの様々な理事の方々がホテルの玄関で迎えてくださいました。まだ朝なので部屋が空かずロビーで休憩しました。夜6時から最初の会合が始まりました。ホテルの天井はかなり高くそこが全員の会合で使われる部屋でした。世界中のガバナーエレクト1,300名くらいと妻も参加なので3,000名近い人数が入りました。入口は4か所あり、入る時は2か所閉じ真ん中の2つの扉から出入りしました。その扉の両側にSAAのたすきをかけた屈強な男性が2名立っておりそこでSAAの凄さをまざまざと見せて頂きました。アメリカはあだ名や短いファーストネームで呼ぶことが多く名札には「Toshi」とだけ書いてありました。入口でポケットが膨らんでいる人は中を見せるよう言われ、アメリカですからピistolを持っている人がいないとは言えないので危険物がないかチェックされました。中に入ると6,000人くらい入るとつもなく大きな部屋で毎回座る場所は変えられます。最初前から2列目を指定されたのですが場所がわからず困っていると、中にいたSAAが私のToshiという名札を見て席を教えてくださいました。毎回変わる席をSAAはどうしてわかるのか不思議に思います。ラビンドラン会長は大変背の高い素晴らしい紳士でその方が入口に立っておられました。定刻近くなり隣の席の方が飛び込んできて「どこから来ましたか?」と尋ねてきたので「横浜です」と答えると彼は「横須賀にいました」と言いました。そのような会話をしていると不意に後ろから背中を叩かれました。何だろうと後ろを見ると赤い襷のSAAが私語を慎むように注意していたのです。ほんの少し話ただけでもSAAはチェックしていました。SAAとは怖い存在です。日本のSAAは優しくアメリカのSAAはニコリともせず怖い顔をしていました。日本のSAAに慣れていたのでびっくりし日本に帰ってから私のクラブではSAAが扉の隣に二人立つようにしました。

会場ではまずラビンドラン会長からのお話があり、第一声は「この日を人生で最も大切な時」でし

た。また次のように述べられました。「ここにおられる皆さんは多くを与えられた方々です。そして皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは授けられた才能と、持ちうる力の限りを尽くして世界へのプレゼントとなることができる一年です。そのために皆さんに与えられた時間は一年です。この時間はあまりに短くなすべきことはあまりに多くあります。次年度、信念、情熱、才能を捧げるだけでなく皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」。会長はさらに「私たちはポリオのない未来をプレゼントすると世界の子ども達に約束しました。私たちは闘いを続け必ずや勝利します。ロータリーが世界にもたらすことのできる影響の良い例がポリオ撲滅です」と述べられました。25年前にロータリーがポリオ撲滅の目標を掲げた時、125か国にポリオウイルスが常在し毎日1,000人以上がポリオの麻痺障害の犠牲となっておりました。現在残るポリオ常在国はアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3か国となりました。2014年に報告されたポリオの症例数はわずか333件でした。というお話がありました。7月の中旬にラビンドラン会長から私に直接メールが届きました。「ナイジェリアは昨年一年発症例数ゼロでした。従って残る常在国はアフガニスタンとパキスタンの2か国となりました」。

ロータリーのもう一つの課題である会員増強についても触れられました。私たちの組織を形作った基本に立ち返る方法を模索しなければなりません。それは人生のあらゆる場面における高い倫理基準と各クラブの人材の多様性を奨励する職業分類システムです。と言われました。当クラブの職業分類表を会長から頂いて本年の計画書で拝見いたしますと職業分類というより名簿のような形となっております。未充填が全くありません。過去より職業分類表というのは未充填の部分を充填の3倍くらい作っておくというのが常識であります。未充填の空いたところを埋めていく。そのために職業分類表があるわけですから未充填がない職業分類表というのはありえません。従いまして未充填を入れてください。会員の中でご存じの業種の方がありましたら是非その方に入会を勧めてみるというのが職業分類表の使用目的です。ガバナーが職業分類表の提出を義務付けていないということに違和感を感じ、昨年の秋に職業分類表の提出をお願いしました。会員増強の面から会長も職業分類システムの重要性を訴えられておりました。

そしてもう一つ、ブランディングの取り組みです。ロータリーの発展にとって極めて重要にもかかわらず世界各地でロータリーブランドの価値が低下して

いるのは問題ですというお話がありました。世界各地で薄れつつあるロータリーのイメージを変える必要がありますと強く主張されておりました。確かに我が国においてもロータリーのブランドというのは低下しているという感じを受けます。一つの原因として周年事業のやり方に原因があるような気がします。周年事業を会員と仲のよいお友達とお祝いするのみでおしまいにするクラブが比較的多い気がします。昔は周年事業がありますとその地場に何かを残したものです。例えば駅の前の大きな時計を寄付しロータリーの名前を入れる、公園にベンチを寄付しロータリーの名前を入れるなど。このようなことの減少がブランドの低下を必然的なものにしてきている一因ではないかと思えます。百合丘ロータリークラブの周年事業まであと2年ですから地場に何か残してブランドの持ち上げに協力して頂きたいと思えます。

横浜ロータリークラブも明年90周年を迎えます。今からどうするのか議論しております。80周年は本牧3丁目公園を整理し横浜緋桜を植樹しその後毎年3本くらいずつ植樹を続けいっぱいになったので終わりにしました。横浜緋桜の説明とともに植樹した横浜ロータリークラブの名前も記されております。桜の咲く頃に小さな子供を連れてお母さんがお弁当を食べているのを見るとやってよかったと毎年感じております。

百合丘ロータリークラブは立派に増強していますが欲を言えば50人くらいのクラブにして頂きたい。平均年齢も高いのでネット関係等新しい職業の若い方の会員増強もしていけるといいのではないかと思います。

最後に地区方針について話したいと思えます。

・ロータリーの原点とその心を大切にしよう

原点というのはあくまでも親睦です。心というのは

奉仕の心です。これはやはり大切にしましょうとお願いしたいです。

1. 教育研修を実施しましょう

地区の委員長をしていたときに6月末になると人数が大きく減ってしまうことについてチェックしました。入会して3年未満の方が、多いと3割近く抜けてしまっているのでロータリーは何かということをしつかり研修して頂きたいと思えます。

2. 地区の会合には参加しましょう

ぜひ出席し友達の幅を広げて頂きたいと思えます。

3. 地域に密着したロータリー活動を行いましょう

これが増強の大きなファクターになると思えます。

4. 長期計画(戦略計画)を立てましょう

5年となっておりますが、3年でいいと思えます。3年後自分のクラブがどうなっているか考えその施策を今のうちからして頂くということが必要と思えます。

5. ロータリー財団活動に対するご理解とご寄付のお願い

ポリオの寄付は3年間ということになっており今年度が最後です。どうぞよろしくお願ひします。

6. ロータリー米山記念奨学事業へのご理解とご寄付のお願い

こちらも例年通りよろしくお願ひします。

7. 会長賞に挑戦しましょう

素晴らしい計画が成就された時は、会長賞が贈られます。

私の本年度のまとめとして、ロータリーの原点は親睦と奉仕であります。どうかこのことを大切にロータリークラブがますます栄えるよう会長にお願いしたいと思えます。皆さんも会長に協力してこのクラブをますます素晴らしいものとしてください。

